

令和 5年度予算見積調書

課室名: 畜産安全課
 担当名: 畜産振興担当
 内線: 4191

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業		
P32	畜産振興対策事業	一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費		
事業期間	平成27年度～	根拠法令	家畜改良増殖法第2条、酪肉振興法第2条の3、養豚農業振興法第4条～9条、養鶏振興法第18条		針路分野施策	12 儲かる農林業の推進 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 2 SDGsターゲット 2-4	
1 事業の概要	畜産農家の畜産クラスター事業への参加や乳用牛の疾病対策、凍結精液人工授精技術等を活用した養豚振興対策及び飼料用米利用促進のための支援等を総合的に行うことで、本県畜産の競争力の強化を図る。		5 事業説明 (1) 事業内容 ア 畜産総合対策事業 経営革新指導事業 859千円 クラスター協議会の指導及び畜産経営分析の実施等 イ 酪農振興対策事業 2,596千円 酪農家の生産性阻害要因となっている牛白血病や乳房炎などの早期清浄化を図り酪農経営の安定を図る。 ウ 養豚振興対策事業 2,383千円 凍結精液人工授精技術や凍結受精卵作成技術等を活用した生産性向上やブランド豚の保護等により養豚経営の安定を図る。 エ 飼料用米利用促進事業 23千円 県内畜産農家の飼料用米地域内流通を促進するための耕種農家とのマッチング等を実施する。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(2) 事業計画 ア 畜産総合対策事業 平成27年度～ 令和5年度 畜産クラスター協議会の指導及び畜産経営分析の実施 イ 酪農振興対策事業 平成29年度～ 令和5年度 牛白血病及び乳房炎の検査及び指導 ウ 養豚振興対策事業 平成28年度～ 令和5年度 凍結精液人工授精技術の実用化及び農家への普及・定着並びに凍結受精卵の作成 エ 飼料用米利用促進事業 平成29年度～ 令和5年度 飼料用米利用の推進					
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)(区分)農業行政費(細目)生産流通振興費(細節)畜産振興費			(3) 事業効果 産地競争力の強化、収益力の強化及び悪臭等環境問題の改善等に必要施設や機器・設備の整備、並びに家畜改良の推進及び飼養技術の向上等により、本県畜産経営の安定が図られる。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×9人=85,500千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	5,861						5,861	△472
前年額	6,333						6,333	

事業内訳書

事業名	畜産振興対策事業		
単位事業名	畜産総合対策事業	予算額	859千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	70	△15	県内旅費
需用費	201	△41	事務用品、資料印刷費、立入用経費(資材、医薬材料費、燃料代)
役務費	53	△7	郵券、電話代
委託料	535	0	経営革新指導事業委託
合計	859	△63	

単位事業名	酪農振興対策事業		
		予算額	2,596千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	366	28	県内・県外旅費
需用費	719	0	事務用品、資料印刷費、調査検査用経費(資材費、医薬品材料費)
役務費	121	0	郵券、検査機械点検料

単位事業名	酪農振興対策事業	予算額	2,596千円
-------	----------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
備品購入費	990	△241	細胞計測器
負担金、補助及び交付金	400	400	関東ホルスタイン共進会負担金
合計	2,596	187	

単位事業名	養豚振興対策事業	予算額	2,383千円
-------	----------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	8	△7	県内旅費
需用費	2,170	△562	凍結受精卵作成用経費(消耗品、修繕費、医薬材料費)、資料印刷費
役務費	205	△22	郵券、種豚登録料、凍結受精卵作成用種豚登記料
合計	2,383	△591	

単位事業名	飼料用米利用促進事業	予算額	23千円
-------	------------	-----	------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	2	△4	県内旅費
需用費	21	5	立入用経費(消耗品、医薬品材料費)
合計	23	1	